

# 大空襲資料・遺物求む

## 富山市 体験談HPで公開

### 令和につなぐ

とやま戦後74年、約3千人が犠牲となり、富山市街地の約55%を焼失した富山大空襲から8月1日で74年。富山市は、大空襲の記憶と平和の大切さを後世に引き継ぐため、戦禍を物語る資料や遺物を市内外から募っている。品々への思い入れや当時の記憶も聞き、画像とともにデジタルアーカイブとしてホームページ（HP）で公開する。北日本新聞社共催。空襲を伝える資料として、市が所蔵しているのは、焼夷弾や防空頭巾、焼けた釜など12点にとどまる。戦後70年以上たち、戦災の記録と記憶の風化が懸念されるため、昨年12月に収集し、公開する方針を決めた。



富山市が保有する防空頭巾（上）と富山大空襲で焼けた釜（同市提供）

事業は、毎年8月1日に開く「富山市民感謝と誓いのつどい」の実行委員会と共同で実施。資料や遺物は原則、寄贈を求めている。た。事業は、毎年8月1日に開く「富山市民感謝と誓いのつどい」の実行委員会と共同で実施。資料や遺物は原則、寄贈を求めている。た。

## 地鉄・ライトレール値上げ

### 10月路線バスも改定

富山地方鉄道（富山市桜町）や富山ライトレール同市城川原は10月1日から、消費税率引き上げに伴い運賃を改定する。地鉄の鉄道初乗りと市内電車、富山ライトレールのポータルをそれぞれ現行の200円から10円引き上げる。地鉄の平均改定率は1.8%で、北陸信越運輸局への申請が認可されれば10、40円の値上げとなる。電鉄富山からの主要区間の申請運賃は越中府橋まで420円（現行410円）、立山まで1230円（同1200円）、宇奈月温泉まで1880円（同1840円）。富山ライトレールによるポータルと地鉄の市内電車の南北接続事業が来

# エベレスト登頂陰で支え

## 小矢部の繊維企業辻さん

辻さんの働く「アートジョイ」は繊維企業「IAA ZAJ（イチアミエイゼツトアートジョイ）ホールディングス」（H.D.砺波市）の傘下で商品の企画・販売などを手掛ける。同H.Dは2014年から自社製品と富山の魅力を発信するプロジェクトを展開。その一環として佐伯さんのエベレスト挑戦を支援した。辻さんは16年にアートジョイの販売部長に就き、佐伯さんのプロジェクトの主任を務められた。「光栄だったが、責任重大だと感じ

## 高機能衣服 3年かけ開発

5月下旬に果して世界最高峰エベレスト（8848m）に登頂した立山ガイドの佐伯知彦さん（40）を陰で支え続けたのは、小矢部市小神の繊維関連会社で販売部長を務める辻美さん（37）だ。従業員が10人に満たない小さな会社が、登頂に向けた衣服の開発など3年がかりで成功させたプロジェクトだった。現地にも付き添いサポートした辻さんは「成功すると信じていた」と、偉業を振り返った。（小矢部支局長・柳田伍絵）



エベレスト登山の玄関口ルクラを出発する辻さん（右）と佐伯さん＝4月4日、ネパール

なく、画像データ化した後に返却する。長年、大切に保管してきた品に対する思い入れや戦争の記憶も併せて記録。市がこれまで募集してきた戦争体験談と併せてアーカイブを制作し、来年度に市HPで公開する。

6月20日の広報紙「広報とやま」で市民に提供を求めたが、これまで寄せられた品はない。同市市民生活相談課は「遺物収集に取り組みの機会が最後。空襲に遭い、今は市外に住んでいる人も含め、広く協力を呼び掛けた」としている。

## 五輪硬貨は 風神・雷神



財務省は29日、2020年東京五輪・パラリンピックを記念した500円硬貨の図柄が、芸術作品の「風神雷神図屏風」に決まったと発表した。同省が三つの図案の中から、ツイッターや郵便はがきを通じて投票を受け付けていた。硬貨は20年7月ごろに金融機関で交換できる見通し。

## 500円 来夏交換

オリリンピック記念硬貨に「雷神」、パラリンピックに「風神」をそれぞれデザインする。裏面には、五輪・パラリンピックのエンブレムや競技の絵文字「ピクトグラム」をあしらう。表面の他の図案は「富士山」と「国立競技場」で、「風神雷神図屏風」は投票総数6万6318票のうち、43%の支持を集めた。

## 抑留者遺骨「日本人以外」

### シベリア派遣団 16人分埋葬地誤りか

太平洋戦争後に旧ソ連に抑留され、シベリアで死亡した日本人の遺骨として、厚生労働省の派遣団が5年前に収集し、持ち帰った16人分の遺骨について、全ての骨が日本人のものではない、もしくは日本人のものでない可能性が高いとのDNA型鑑定結果が昨年8月に出ていることが29日、分かった。埋葬地を誤った可能性もある。同省は発表しなかったことについて「鑑定結果の精査や整理に時間がかかった」としている。

海外口座に300万円 財産調査を未提出 富山で大阪国税局告発

所得税約8300万円を脱税し、海外の口座などに7300万円の預金があったのに国外財産調査を提出しなかったとして、大阪国税局が所得税法違反と国外送金等調査法違反の疑いで、京都市山科区の家賃輸入販売仲介会社の中村英樹代表取締役49歳（同区）を京都地検に告発したことが29日、分かった。

## 着ぐるみ男性 熱中症で死亡

大阪府枚方市の遊園地「ひらかたパーク」で28日、同市のアルバイト山口陽平さん28が着ぐるみを着てダンスの練習をした後に意識を失い、搬送先の病院で死亡したことが29日、府警への取材で分かった。司法解剖の結果、熱中症が原因と判明した。

## 日本海海嘯

枚方復興川消防組合によると、ひらかたパークの女性職員が28日午後8時ごろ「意識がない」と119番した。搬送時は心肺停止の状態だったという。

## 運転中に熱中症 射水で壁に衝突

高岡では90代男性搬送 射水市と高岡市で29日、各1人が熱中症の疑いで救急搬送された。

射水市では午後4時ごろ、車を運転していた40代男性が意識もろろとなり、家の壁に衝突した。近くの人から119番して病院に運ばれた。軽症とみられる。高岡市では午前11時半ごろ、90代男性が自宅の庭で倒れて病院に搬送された。

## 園児たたき 保育士解雇

横浜市緑区の認可外保育施設「横浜パティスポーツ」が3歳の幼児の顔をたたいたとして、20代の男性保育士を論旨解雇していたことが29日、横浜市と同園への取材で分かった。園児にけがはなかったという。解雇は16日付。

市や園によると、保育士は3、4歳のクラスを担当。市は保護者からの問い合わせを受け19日に園へ立ち入り調査を実施。園長らへの聞き取りや防犯カメラの映像などから、保育士が園に通う幼児の顔を複数回たたいたことを確認した。

立山の水死事故で書類送検 昨年9月に立山町の工事現場で50代の男性作業員が用水に誤って転落し水死した事故で、魚津労働基準監督署は29日、労働安全衛生法違反の疑いで、工事現場を調べた。搬送時は心肺停止の状態だったという。

送検容疑は昨年9月28日、同町岩野寺の用水の土砂除去や点検などを行う工事現場で、男性が一輪車で発電機を運ぶ際、安全な通路を確保しなればならなかったのに、巡視路と叫ばれる用水脇の通路を使って作業させた疑い。

3月に黒部市の工場で、男性作業員が機械と柱の間に挟まれて死亡した事故で、魚津労働基準監督署は29日、労働安全衛生法違反の疑いで、機械設置工事・修理などのシステムサキ（同市前沢）と代表取締役の男性39を地検魚津支部に書類送検した。

茨城県警茨西署によると、男性は「送電線を避けようとして上昇したが避けきれず、機体の一部が送電線に絡まって墜落した」と話している。

埼玉で中1男子自殺 埼玉県の所沢市教育委員会は29日、昨年7月に市内の中1男子生徒が自殺していたと発表。市教委が設けた第三者委員会は中間報告で、担任だった30代の女性教師の指導に「効果があった」と指摘。原因は特定できていないという。